

南極30m級テラヘルツ望遠鏡計画  
－高赤方偏移銀河・AGNの観測－  
検討会

日時：2018年3月27日 10－17時

場所：筑波大学・総合研究棟B1階 112号室

<http://www.px.tsukuba.ac.jp/~nakai/astroobs/location.html>

<http://www.px.tsukuba.ac.jp/~nakai/astroobs/images/campusmap.jpg>

次第：

10:00-10:10 久野成夫（筑波大学）

あいさつ・趣旨説明

10:10-10:40 井上昭雄（大阪産業大学）

「z~15の星形成活動とその観測可能性」

10:40-11:10 泉 拓磨（国立天文台）

「高感度・高分解能テラヘルツ帯観測で探るAGN周辺環境」

11:10-11:40 平下博之（台湾中央研究院）

「テラヘルツで観測される高赤方偏移銀河の性質」

休憩

11:55-12:25 川口俊宏（尾道市立大学）

「活動銀河核ダストトールラスの中間赤外線放射」

12:25-12:55 川勝 望（呉高専）

「南極30mテラヘルツ望遠鏡で探る超巨大ブラックホールの成長過程」

昼食（大学食堂）

15:15-15:45 中川貴雄（JAXA 宇宙科学研究所）

「次世代赤外線天文衛星SPICAで探るAGN：南極望遠鏡とのsynergy」

15:45-16:15 梅村雅之（筑波大学）

「宇宙構造形成の3D問題－CDMパラダイムへの挑戦－」

16:15-17:00 討論